

高知精神保健

発行所 高知市丸の内1丁目2-20
 高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課内
 高知県精神保健福祉協会
 電話：088(823)1111・088(823)9669(直)
 FAX：088(823)9260
 E-mail：kochi-mhwa@mopera.net
 発行人 数井 裕光 編集人 諸隈 陽子

第283号

令和5年度 初めのご挨拶



高知県精神保健福祉協会
かずい ひろあき
 会長 数井 裕光
 (高知大学医学部
 神経精神科学教室教授)

令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類に変わりました。これを契機に私たちの社会生活も徐々に正常化しつつあると思います。私の周辺でも集合形式の会合が徐々に増えています。今年度は、本協会の皆様とも直接交流する機会が増えることを期待しています。

さて、令和5年度の高知県精神保健福祉協会の活動について簡単にご報告させていただきます。まず、本紙「高知 精神保健」ですが、例年通り年3回(7・10・3月)の発行を予定しております。第56回となる精神保健福祉卓球大会は、10月20日(金)に高知県立県民体育館で開催する予定です。第62回となる高知県精神保健福祉大会は、同仁病院の山下元司先生を大会実行委員長として、11月15日(水)の13時から、高知県立県民文化ホール(グリーンホール)で講演会を開催する予定です。大会のテーマは「やなせたかし 愛、勇気、希望を求める魂の旅」～みんなが安心して暮らせる社会をめざして～として、公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団事務局長の仙波美由記氏と高知工科大学教授の池雅之氏にご講演いただきます。会員の皆様のご参加をお願いするとともに、周辺の皆

様にもご案内していただけましたら幸いです。

さて、本協会の特別委員会では、海辺の杜ホスピタルの岡田和史先生を委員長とする「あり方検討委員会」を組織し、本協会の将来像、あり方についてここ数年間、検討してもらっていました。皆様にもこの件に関するアンケート調査にご協力いただきました。誠にありがとうございました。昨年度末に提言としてまとめてもらいましたが、その中で、まず現状把握としては、入院中心の医療から外来診療、さらには福祉・教育などに関連領域が拡大している、少子高齢化の影響を受け対象疾患も多様化している、当協会の活動がマンネリ化しているのではないかと等が挙げられました。この現状を踏まえた上で、本協会の会員の皆様や県民のニーズを把握し、優先順位を決めて、今年度から新しい活動に取り組むことを共有しました。そしてこの活動を推進するために、本協会副会長の橋詰宏藤戸病院院長を委員長とし、多様な職種・施設・世代をキーワードにして委員を人選した「ありかた委員会」を発足させました。今後はこの委員会が中心となり、会員の皆様と意見交換しながら新しい活動を提案し、実現していきたいと思っています。

4月3日から、NHKの朝の連続ドラマ小説「らんまん」の放送が始まりました。高知県が生んだ日本の植物学の父・牧野富太郎博士の物語です。牧野植物園もリニューアルされ、これまで以上に魅力的な施設になりました。私達も今年度、自らをリニューアルし、これまで以上に精神保健福祉に関して県民に近い存在になろうと思っています。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

目次

令和5年度 初めのご挨拶……………	1	南国土佐にお邪魔して……………	4
「農福連携ケアシステム」こうち絆ファームへ……………	2	日精看「こころの健康出前講座」事業……………	5
高知県精神保健福祉協会 令和5年度事業計画……………	3	第25回 高知県障害者スポーツ大会……………	6

「農福連携ケアシシステム」こうち絆ファームへ

※「農福連携」とは、障害者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みの事です。今回は、安芸市で農福連携の中核として活動されている事業所『こうち絆ファームTEAMあき』の代表 北村浩彦氏にお話を伺ってきました。

安芸市の農福連携は、平成26年から、安芸福祉保健所が取り組んでいた自殺予防ネットワーク「ここから東部地域ネットワーク会議」の活動の副産物であると言われています。



北村浩彦さん

10年間引きこもり状態にあり、生活困窮状態にあった30代の男性を、人手不足に悩んでいた農家に働き手として紹介したことが始まりだったそうです。

その後、同じようなケースで、障害のある方や引きこもりの方等、生きづらさを抱えた方を、人手に困っている農家に紹介する活動を進めていった結果、平成29年には11戸の農家で16名が就労するようになったため、新たに就労支援専門部会を立ち上げ、直接支援をできる体制を整えました。

さらにその翌年には、「農福連携研究会」を設立し、官民の組織を超えた連携を実現するため、本格的に農福連携を推進していったそうです。それにより、就労先の確保や定着支援が可能となりました。

そのような流れの中、個人農家として、働きづらい人の雇用をしていた北村氏は、「もっとたくさんの生きづらい人の雇用先を増やしたい」との思いから、令和元年12月に「一般財団法人 こうち絆ファーム」を開設しました。

令和2年4月には、『「こうち絆ファーム」TEAMあき』として、「当事者の自立を目指す」ことを目標とする農業・福祉事業所を設立し、行政及び関係団体と連携し、最低賃金で働けないすべての人や、生きづらさを感じる人たちのサポート



TEAMあき

を行なっています。

現在、TEAMあき（B型事業所）には一般就労を目指す利用者が約50名在籍し、農家から委託されたナスの袋詰め作業や、個人農家でのアルバイト、事業所で栽培しているオクラの収穫や袋詰め等の作業に従事しています。



作業所集合

年間作業スケジュールをみると、8月にナスの苗を植えて、9月の後半から収穫を始めます。翌年の6月までナスの収穫が続きます。その間、収穫、手入れという農作業が約10カ月間続きます。ハウスで収穫したナスは事業所に持ち帰って袋詰め作業を行います。

規格表に合わせたナスを1袋に5本詰め、段ボールに30袋入れて、1ケースを仕上げています。1ケース200円の工賃を利用者に支払っています。袋詰めできるナスの基準は、手の平で握れるサイズ、傷が無い物をA級品とし、傷がある物をB級品と分けて出荷されているそうです。



袋詰め

ナスの収穫が終わると、7～9月は農閑期となりますが、その間の仕事を確保するために、オクラの栽培をしています。こちらでもハウス栽培で、収穫と手入れの作業が4カ月間続きます。



袋詰めナス

令和5年5月より『こうち絆ファーム TEAMいの』が開設しました。こちらでもTEAMあきと同様に農業を中心とした活動がされていくそうです。



TEAMいの

安芸市で農福連携が進んだ理由として、

- ・生きづらさを抱えた人の特性に、農家ででの作業がマッチし、気づいた時に労働力となり、副産物的に人手不足の解消になった。
- ・支援者が、組織を超えて連携することで、就労を後押しする環境が整い、積極的にマッチングを進めていったこと。
- ・もともと構築されていた「ここから東部地域ネットワーク会議」の取り組みの中で地道に続けてきた、障害や生きづらさを抱えた人を理解する勉強会や、彼らのことを現場で雇用主へ説明することで、農家が生きづらさを理解してくれるようになり、結果として各支援機関と農家と同じ目線で目標に向かっていく状況になった。

と北村氏から説明がありました。

皆の「安芸市をなんとかせないかん！」との思いが、官民連携を推し進め、そして官民一体となって連携を深化させ続けることにより、障害への理解を深める活動や、当事者や農家双方の相談体制等がスムーズに構築できたのではないのでしょうか。

現在もなお、安芸市での農福連携の活動は農業だけにとどまらず、酪農や水産業（水福連携）、林業（林福連携）等に拡大しています。そして、勉強会や研修会を積極的に開催することにより雇用を希望する事業者も増加し続け、また、発達障害者や高齢者、触法者等、生きづらさを抱える人の対象が増えるにつれ、学校、病院、特別支援学校、商店街にまで連携の輪が広がってきています。（文責：久保浦）

一般社団法人 こうち絆ファーム
(TEAMあき)

URL : <https://kochi-kizuna-farm.com/>
☎ 0887-37-9071/FAX 0887-37-9072
〒784-0004 高知県安芸市本町3丁目10-35



高知県精神保健福祉協会 令和5年度事業計画

1. 広報部

年3回、会報「高知精神保健」の発行（各2700部）
精神保健福祉大会をはじめ、協会関連事業等の取材
協会ホームページの管理・運営

2. 大会事業部

第62回高知県精神保健福祉大会の企画・運営
開催日：令和5年11月15日(水) 13:00～16:10
場所：高知県立県民文化ホール(グリーン)
テーマ：「やなせたかし 愛、勇気、希望を求める魂の旅」
～みんなが安心して暮らせる社会をめざして～
『講演(2題)』

講師1 仙波 美由記氏

((公財)やなせたかし記念アンパンマン
ミュージアム振興財団 事務局長)

講師2 池 雅之氏

(高知工科大学共通教育教室 教授)

3. 総合福祉部

精神保健福祉卓球大会の開催
令和5年10月20日(金) 高知県立県民体育館
「文化交流 MOVIE」～愛の花をあなたへ～の開催

4. 調査研究部

令和5年度は休止

5. 研修部

地域研修会の開催
幡多地域で10月下旬開催予定

6. 基金管理運営部

精神障害者の自立と社会復帰の促進を図る事業に
資金の貸付(無利子)を行う。
貸付金の返還期間は原則1年であるが、状況に応じて延長可能。
本年度の貸付件数(令和5年4月現在3件)

精神科医療の
真のパートナーを
目指して

田辺三菱製薬グループ

吉富薬品株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10
<https://www.yoshitomi.jp/>

なんとかしたい。
だから、挑む。

Sumitomo Pharma

南国土佐にお邪魔して

医療法人尚志会 愛幸病院 院長 篠原 英明

沖縄行きの飛行機に乗り間違えたのかと思いました。山脈を抜け一気に海に出た時です。

「うわっ、あお！」群青色とコバルトブルーが層をなしています。

雨の日です。折りたたみ傘を持って外に出ました。「雨粒が大きい！」頑丈なのを1本買いました。

次の日は快晴。まだ4月なのに光のパワーが凄まじい。遠くには青い山々。空が高いです。

この空気感。

朝市で見かけたトマトの赤、胡瓜の緑、茄子の紫。濃い。

沈下橋から覗き込むたゆたう流れ。キラキラひかり、川石がひとつひとつ見える。

色彩、光、空気感。

そうそう人の話です。しなやかで強い女性、少し世話焼き？シャイでぶっきらぼうだけど心優しい男性。男女ともかなり奔放な方もいらっしゃる。全員が酒豪というわけでもなさそうです。ただ皆さん飲むとよくしゃべる。豪快な笑い声。宴は続きます。

病院のスタッフ。みんな患者さんに優しいです。看護師、PSW、事務員さんまで「何とかしてあげたい」マインドの持ち主です。院長としてはうれしく、誇らしい。

「治せない患者はいるけど、ケアできない人はいない」。昨年亡くなった中井久夫先生の名言です。手前味噌ですが、みんな「ケア」が上手です。やり方は人それぞれ。



患者さん。まだ敷居が高いかもしれない精神科にみなさん勇気を出して相談に来てくださいます。

老若男女問わず、たくさん来てくださいます。何とかお応えせねば。

精神科はその土地の文化、風習、気質に大きく影響を受けます。私はまだまだ勉強中です。ときどき年配のかたの言葉が分からないことがあります。

そろそろ自然に～き、ちゅう、～がが出るようにならないかな。まだちょっと気恥ずかしく、緊張するので大阪弁で通しています。すみません、もう少しお待ちを。

他の地域から高知に住まれている方も多いです。外国人の方も。もう多文化共生になっているかもしれません。もっとたくさんの方が高知に来てほしいですね。精神科関係者も。

大都会で疲れた患者さんが高知でゆっくり療養されたりなんかどうかな？

今度、精神保健福祉協会で相談してみようかしらん。

50年あまり関西に引きこもっていたアラ還の精神科医です。昨年4月にご縁があって高知で働かせていただいています。古くなりかけていた頭がかなり活性化してきたのを実感しています。さらにさらにかなり寂しくなっていた頭頂部も奇跡的に復活してまいりました。

厚く御礼申し上げます。

愛幸病院で地道に臨床をやっています。私も病院スタッフに負けじと「何とかしてあげたい」マインドを持ち続けているつもりです。

高知の皆様、協会をはじめとする精神科関係者の方々、そして患者さんへ。

「どうかよろしく願いいたします。ご指導、ご助言、ご叱責歓迎でございます。」

そしてこの豊かな地が地震その他の自然災害に襲われませんように。地方衰退の大波に逆らって発展していきますように祈ります。

医療法人尚志会 愛幸病院

URL : <https://shoshikai-aiko.or.jp/>

☎ 088-822-2739/FAX 088-823-7811

〒780-0041 高知県高知市入明町14-2



日精看「こころの健康出前講座」事業

「ストレスマネジメントとこころの健康」

今回、学校関係（生徒・教職員など）を対象にしたメンタルヘルスに焦点をあて、2023年4月に県立山田高等学校（以下、山田高校）で実施された「メンタルヘルス研修」について、関係者に取材しました。

山田高校はこの研修を実施するにあたり、日本精神科看護協会（以下、日精看）の「こころの健康出前講座（以下、出前講座）」に依頼をしました。

看護師が依頼先に出向く「こころの健康出前講座」

日精看では2009年より「こころの健康」について正しい理解を持っていただきたいとの思いから、精神科領域で働く看護師を地域に派遣して、ご依頼の内容に応じた講演会やセミナー・出前講座を行っています。対象は主に地域住民。市民・一般企業・学校関係・地域自治体・福祉施設で勤務する方々となります（医療従事者のみを対象とする場合は非該当）。

日精看高知県支部でも2015年より全国に先駆け「出前講座委員」を設け、積極的に取り組もうとしています。但しコロナ渦の3年間は実施なしの状態でした。その間にも少ないながら依頼はありましたが、精神科病院は特に厳しい感染対策を講じていたため、派遣がかなわない状況が続きました。



日精看リーフレット表紙

県立山田高校から日精看に依頼

昨年度末に、山田高校より、日精看に全校生徒と教職員対象で「メンタルヘルス研修」の依頼がありました。

講師をつとめた一陽病院（須崎市）橋本憲明看護師によると、【ストレスマネジメントとこころの健康】とい



山田高等学校校舎



講演中の様子

う題材で、「メンタルヘルスとストレスについて」「“こころ”と“からだ”の関係」「ストレスを軽くするために」という内容と2つの個人ワークとアクティビティワークを実施したそうです。橋本氏は「生徒たちはキラキラした眼差しで聴講し、ワークも真剣に取り組んでいました。特にアクティビティワークでは盛り上がりを見せ、笑顔や歓声、楽しそうな声や雰囲気にも包まれていました。」と振り返りました。

今回の講演会について、山田高校養護教諭に話を伺ったところ、「生徒にとって普段あまり聞きなれていない言葉が出てきてたかと思いますが、講師の分かりやすい説明と冗談を交ぜての進行で、生徒は冗談の時は笑い、真剣な話の時は集中して聴いていました。」また生徒からは「ストレス解消法がわからなかったの、この講演会でこんな簡単な方法でスッキリする事ができるんだ」「今まで相談するのは気が引けてできなかったが、相談する事の大切さがわかった」など、前向きになれる感想が多くあったとのことでした。

今回の取材を通して、ストレスフルの時代に“ストレスといかに付き合っていくか”という考え方を学ぶことができたのは意識の上で大きな変化であったと考えます。

（文責：久保浦）

一般社団法人 日本精神科看護協会

URL : <https://jpna.jp/>

☎ 03-5796-7033/FAX 03-5796-7034

〒108-0075 東京都港区港南2-12-33

品川キャナルビル7F



第25回 高知県障害者スポーツ大会 ～生かそう・伸ばそう・力と技の祭典～

『第25回高知県障害者スポーツ大会』（主催：高知県）が、令和5年5月20日～10月15日にかけて、県内4つの会場にて開催されています。その総合開会式が、5月28日(日)に、春野総合運動公園にて実施されました。

この大会は、障害のある方のスポーツを通じた体力の維持増進及び自立と社会参加の促進に寄与するとともに、県民の障害者に対する理解を深めることを目的として開催されています。

■大会プログラム

第25回高知県障害者スポーツ大会式次第		
選手・役員受付	8:45～9:15	
選手整列開始	9:15	
役員整列開始	9:25	
選手・役員整列完了	9:30	
開会式		
開会宣言	9:30	
選手団入場・授典	9:30～9:50	
開会宣言・道徳講話		
開会の訓		
奉賛挨拶		
選手宣誓		
プレムシスター・デモンストレーション		
選手退場	9:50～10:00	
競技開始		
陸上競技	10:00	ボッチャ 11:00
卓球	11:00	グラウンドゴルフ 11:00
卓球	11:00	
①ラウンドゴルフ	10:30	
競技終了・閉会宣言	15:00	

今大会は期間中、8競技が行われる予定で、県内65施設から615名の選手が参加し、今年10月に鹿児島県で開催される『特別全国障害者スポーツ大会』の出場資格を巡って、競い合っています。

春野総合運動公園の広くて立派な競技場で選手はのびのびプレーしていました。また、観客席からは熱のこもった応援や歓声が競技場全体に響き渡り、選手皆さんの大きな力になったのではないかと思います。

選手にインタビューをすると、『優勝することができてよかった。』『負けて悔しいが、楽しくやる事ができてよかった。』『次に開催される事を楽しみにしています。』等明るく、こちらも元気になるコメントがたくさん聞かれました。

今大会の競技結果については、高知県立障害者スポーツセンターのホームページに掲載されています。

選手・応援の皆さん、大会運営・事務局の皆さん、お疲れさまでした。



最後に、この大会の主催者である高知県立障害者スポーツセンターについてご紹介します。

高知県立障害者スポーツセンターは、スポーツを通じて障害児者の健康維持増進および社会参加を促進することを目的とした施設です。障害に応じたスポーツ教室の開催や、気軽に参加ができる様々なジャンルの教室や大会等の開催、指導員の方が各地域に出向いて実施する『出前教室』を実施しています。

障害のある方がスポーツを行いたい場合は是非気軽に相談してみたいでしょうか。

(文責：久保浦)



高知県立障害者スポーツセンター
 URL : <https://www.kochi-scfed.com/>
 ☎ 088-841-0021/FAX 088-841-0065
 ✉ sports11@kochi-scfed.com
 〒781-0313 高知県高知市春野町内ノ谷1-1

